

2002年第38週報告分

- 発生動向総覧 / 調査票通信
- 全数届出患者数一覧表
- 定点報告疾病集計表
- 疾病別グラフ(四類定点週報告分)
- 病原体検出情報(表・グラフ)
— 腸管出血性大腸菌感染症 —
- 年齢階級別累計表
- 保健所別累計表
- 保健所別定点当たり累計表

感染症豆知識

- C 型 肝 炎

東京都医師会感染症予防検討委員会

事務局:東京都立衛生研究所疫学情報室

電話:03-3363-3213(直通)

FAX:03-5332-7365

E-mail: idsc@tokyo-eiken.go.jp

アドレス: www.tokyo-eiken.go.jp/IDSC/



(全数情報)

- ・細菌性赤痢が 5 件報告された。ボイド 2 型菌 1 件 (推定感染地 : ケニア・UAE)、ソネ菌 4 件 (推定感染地 : 香港、インド、フィリピン) である。
- ・腸管出血性大腸菌感染症が 6 件報告された。O157 が 4 件 (VT2 産生株 1 件、VT1 + VT2 産生株 3 件)、O26 が 2 件 (VT1 産生株) である。そのうち入院は 1 件で、HUS の報告はなかった。
- ・アメーバ赤痢が 3 件報告された。推定感染地は国内 2 件、不明 1 件で、推定感染経路は同性間性的接触 2 件、不明 1 件である。
- ・HIV 感染症が 8 件報告された。すべて無症候性キャリアで、推定感染経路は異性間性的接触 3 件、同性間性的接触 5 件である。
- ・デング熱が 1 件報告された。推定感染地はミャンマーである。
- ・梅毒が 1 件報告された。早期顕症梅毒 期で、同性間性的接触による感染が推定されている。
- ・破傷風が 2 件報告された。どちらも臨床決定で国内感染が推定されている。

(推定される感染地は医師の届出によるものです)

(定点情報)

- ・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎が緩やかに増加している。

(病原体情報)

- ・肺炎・喘息 1 名のふん便よりアデノウイルス 40/41 型が分離された。また不明熱 1 名の咽頭拭い液よりアデノウイルス 3 型が分離された。
- ・無菌性髄膜炎 3 名、不明発疹 2 名、呼吸器疾患 1 名から採取した検体 8 件より、PCR 法によりエンテロウイルスの遺伝子が検出された。
- ・菌株で搬入された MRSA 11 株のコアグラマーゼ型は 型が 6 株、 型が 5 株であった。
- ・クラミジア・トラコマチス特異抗体が 66 件検体中 20 件、クラミジア・トラコマチス遺伝子が 7 検体中 2 件検出された。
- ・定点から搬入された頸管拭い液 9 検体中 1 件からパピローマウイルスが検出された。
- ・多摩地域の定点から搬入された感染性胃腸炎患者 1 名のふん便よりアデノウイルスが、1 名のふん便よりロタウイルスと毒素原性大腸菌 (ST 産生) が検出された。

町田

- ・胃腸炎が学童に出てきました。

全数届出患者数一覧表 2002年38週

分類	疾病名	東京都分(報告週)					全国分(診断週)	
		35週	36週	37週	38週	年累計	38週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クミア・コンゴ出血熱							
	ペスト							
	マ-ルブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	コレラ					14		43
	細菌性赤痢	4	4	5	5	76	17	537
	腸チフス		1			20		50
	パラチフス					10	1	27
	急性灰白髄炎							
	ジフテリア							
三類	腸管出血性大腸菌感染症	5	4	10	6	153	64	2669
四類 (全数届出)	アメ-バ赤痢	4	5	5	3	94	4	341
	エキノコックス症						1	7
	黄熱							
	オウム病					3		49
	回帰熱							
	ウイルス性肝炎(急性肝炎)	2				137	3	741
	Q熱					28		35
	狂犬病							
	クリプトスポリジウム症		1			4		107
	クロイツフェルト・ヤコブ病			1		7	2	94
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症					9	1	70
	後天性免疫不全症候群	14	7	11	8	275	11	664
	コクシジオイデス症							3
	ジアルジア症	2		1		41	1	88
	腎症候性出血熱							
	髄膜炎菌性髄膜炎					1		5
	先天性風疹症候群							
	炭疽							
	ツツガムシ病					6		121
	デング熱	2			1	14	2	45
	日本紅斑熱						2	17
	日本脳炎						2	3
	乳児ボツリノス症							
	梅毒	4	2	1	1	44	3	403
	破傷風				2	6	1	71
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症					6		31
	ハンタウイルス肺症候群							
Bウイルス病								
ブルセラ症					1		1	
発疹チフス								
マラリア		1			20		59	
ライム病					2		12	
レジオネラ症			1		13	1	126	

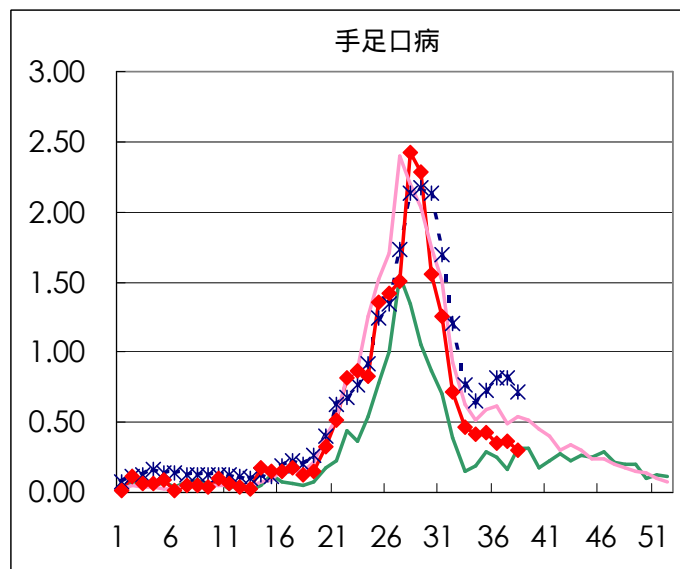
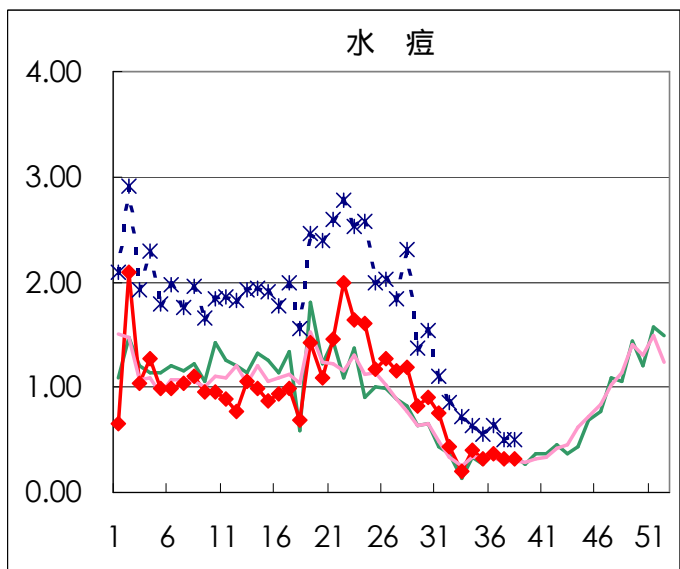
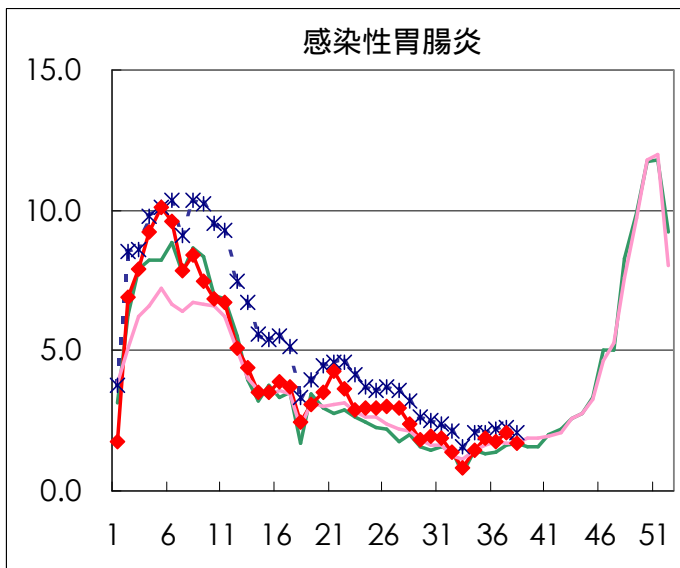
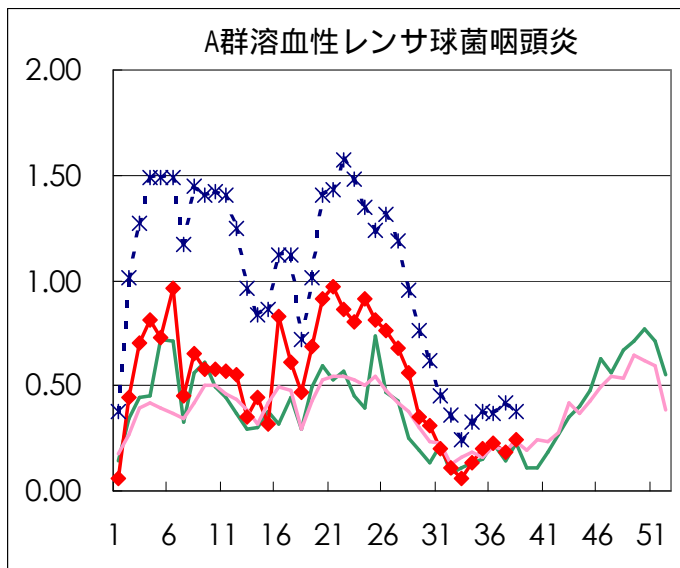
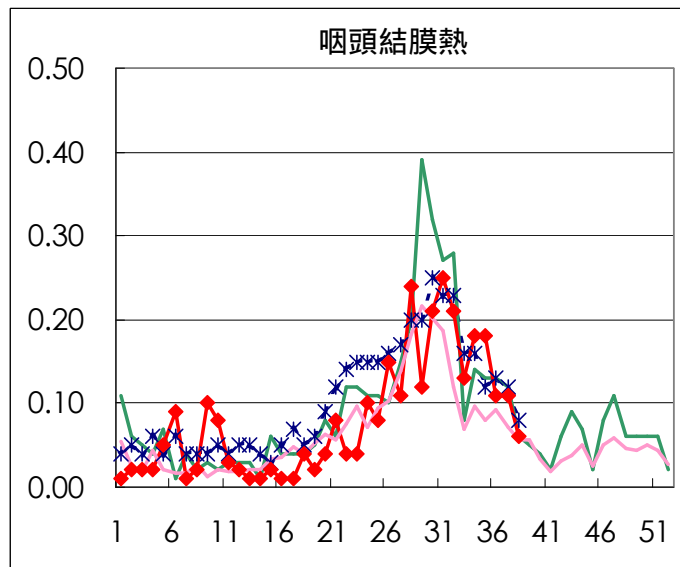
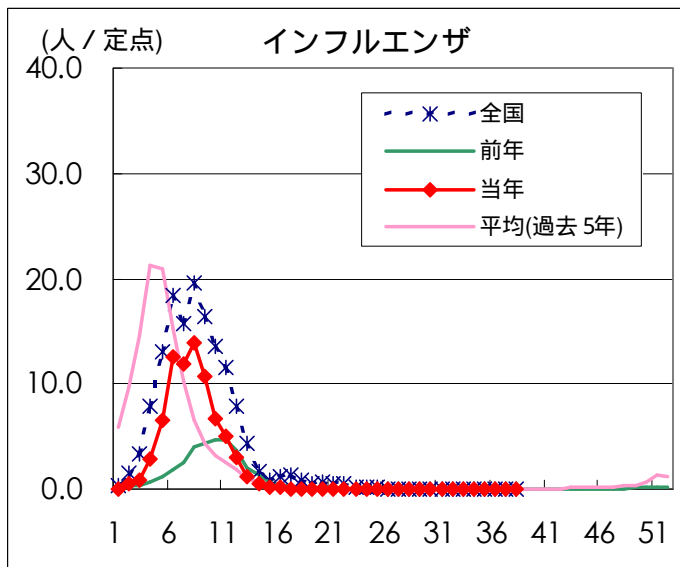
医師からの追加届出により増加することがあります(2002/09/25集計)。

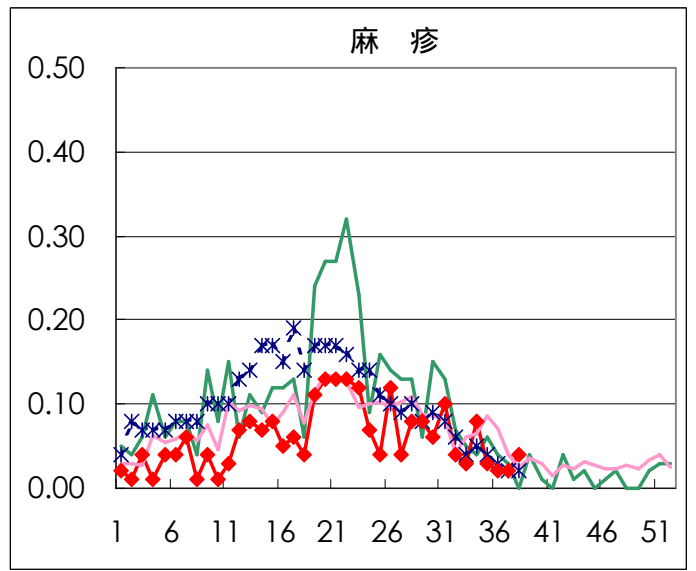
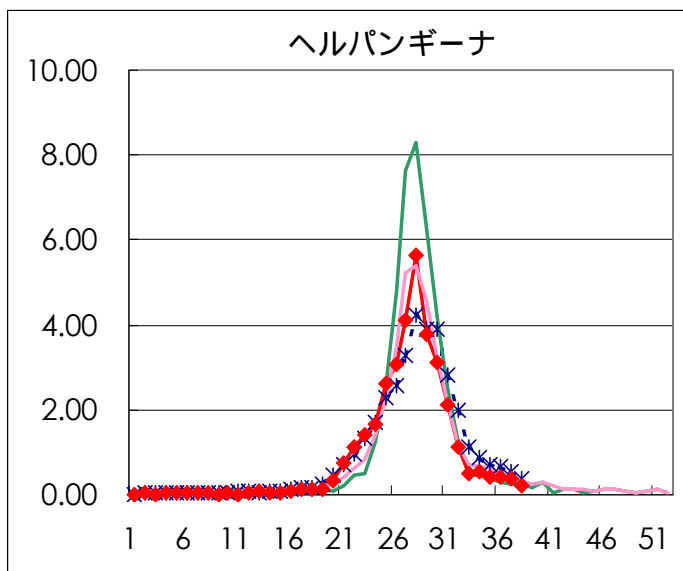
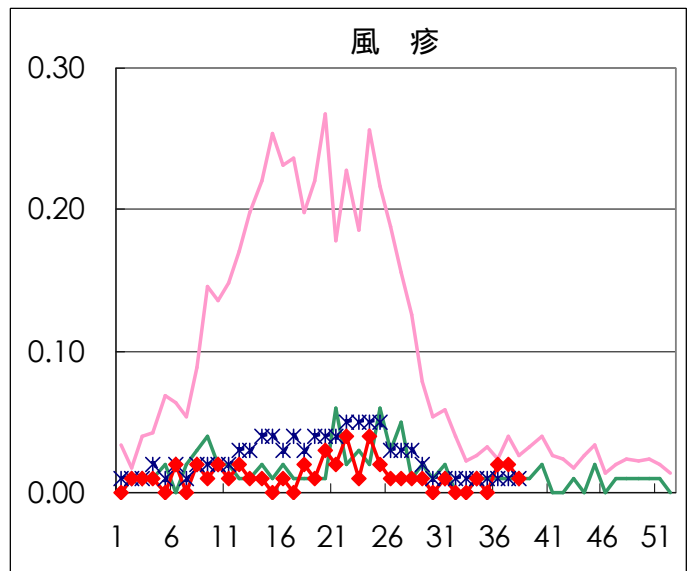
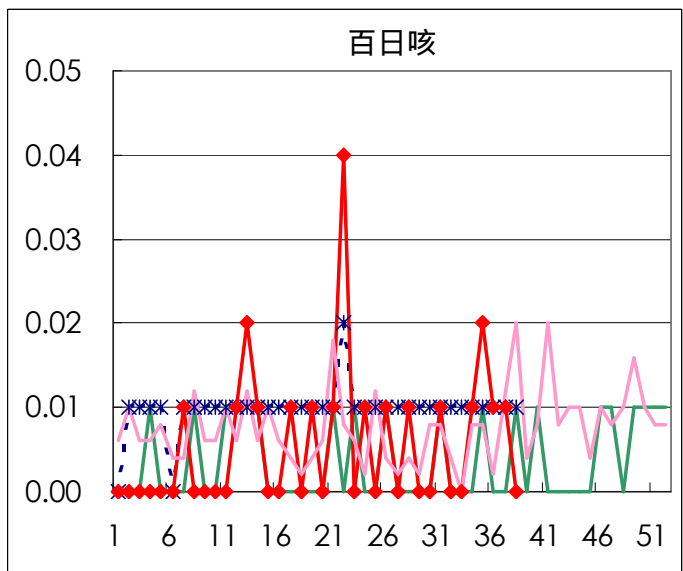
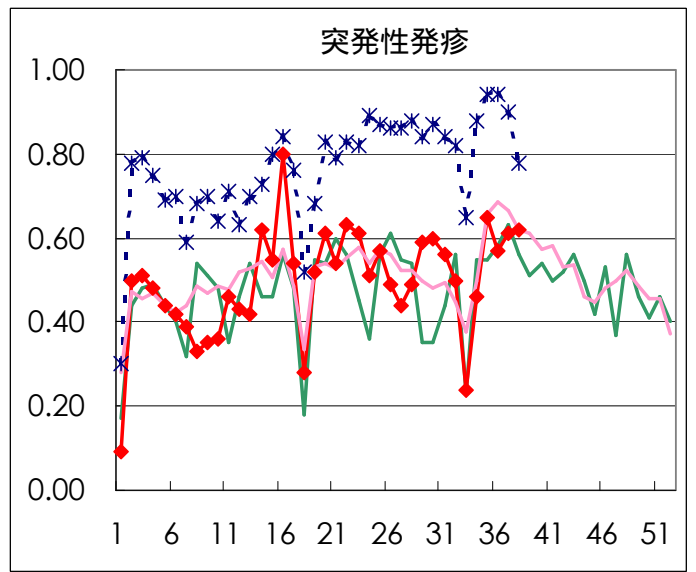
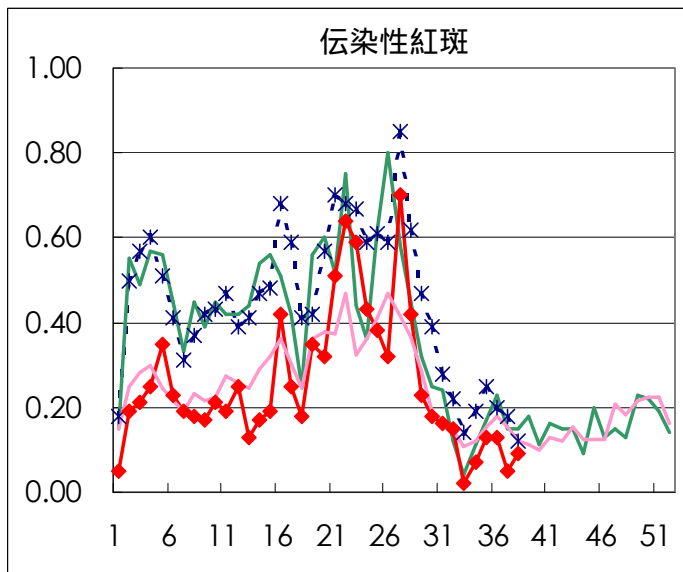
定点報告疾病集計表（男女別）

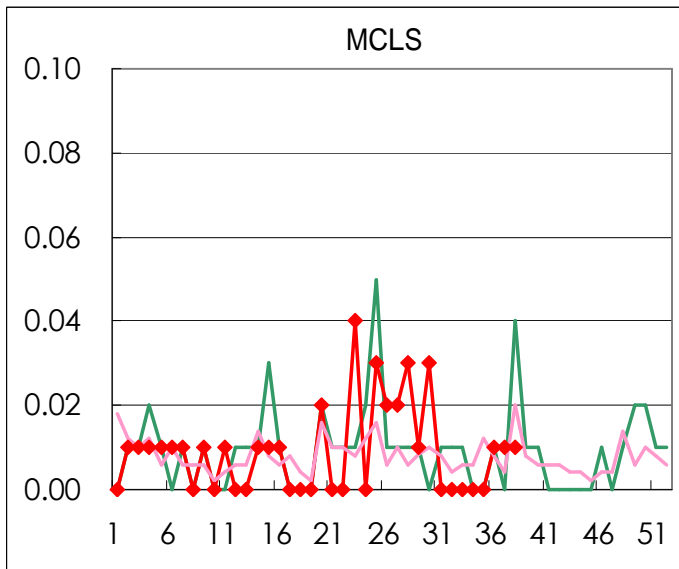
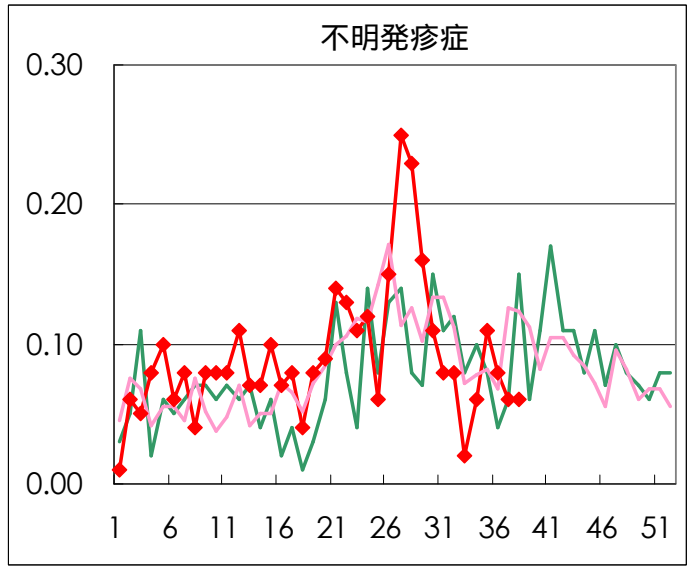
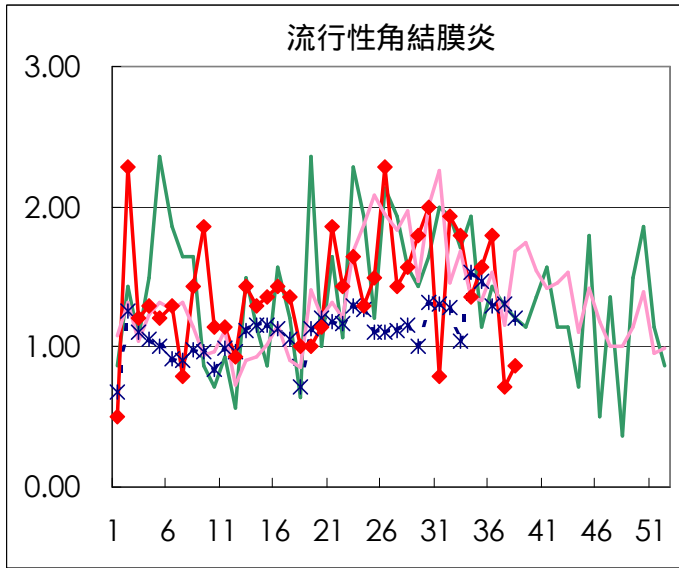
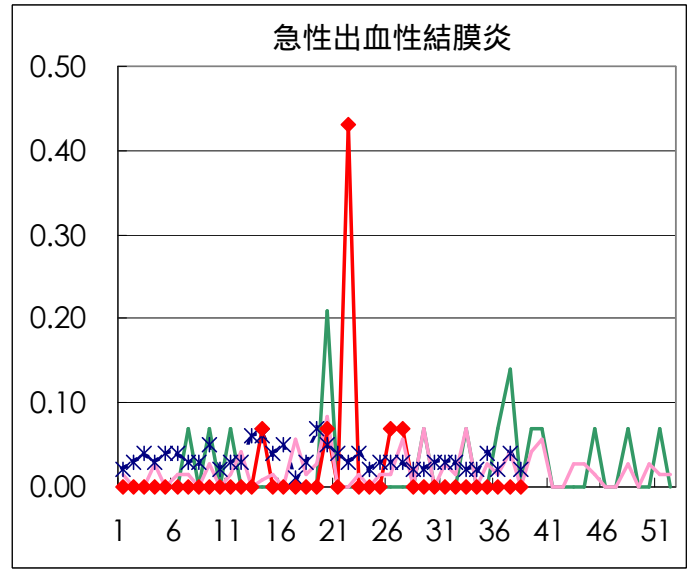
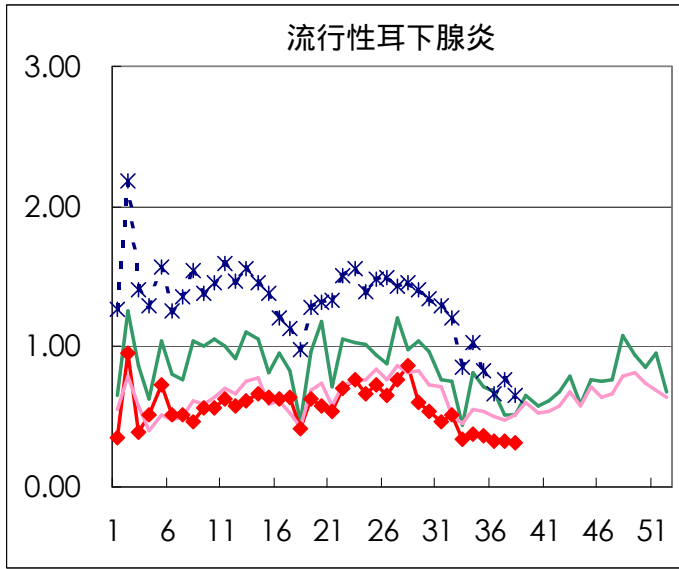
疾病名	性	2002年 週				累計
		35	36	37	38	
インフルエンザ	男					
	女					
咽頭結膜熱	男	13	10	9	5	37
	女	13	5	6	3	27
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	男	16	11	15	21	63
	女	12	21	10	13	56
感染性胃腸炎	男	150	157	160	138	605
	女	121	96	132	99	448
水痘	男	21	29	22	22	94
	女	23	24	23	24	94
手足口病	男	36	30	34	22	122
	女	25	20	17	21	83
伝染性紅斑	男	7	9	2	10	28
	女	11	10	5	3	29
突発性発疹	男	52	41	56	46	195
	女	40	40	31	42	153
百日咳	男	3	1	1		5
	女					
風疹	男		1	2		3
	女		2	1	1	4
ヘルパンギーナ	男	40	32	31	16	119
	女	20	29	24	15	88
麻疹(成人以外)	男	3	1	2	3	9
	女	1	2	1	3	7
流行性耳下腺炎	男	25	30	24	30	109
	女	27	17	23	16	83
不明発疹症	男	8	5	4	3	20
	女	7	6	4	6	23
M C L S	男					
	女		2	1	1	4
急性出血性結膜炎	男					
	女					
流行性角結膜炎	男	11	16	7	5	39
	女	11	9	3	7	30
急性脳炎（日本脳炎を除く）	男		1			1
	女		1		1	2
細菌性髄膜炎	男	1	1			2
	女	1				1
無菌性髄膜炎	男	2				2
	女		1	2		3
マイコプラズマ肺炎	男	2	1	3	1	7
	女	2	2	1	2	7
クラミジア肺炎（オウム病は除く）	男			1		1
	女					
成人麻疹	男	2	1			3
	女	5	2		1	8

「累計」欄は、当週を含む過去4週分の合計を示したものです。空欄は、報告がなかったことを示しています。

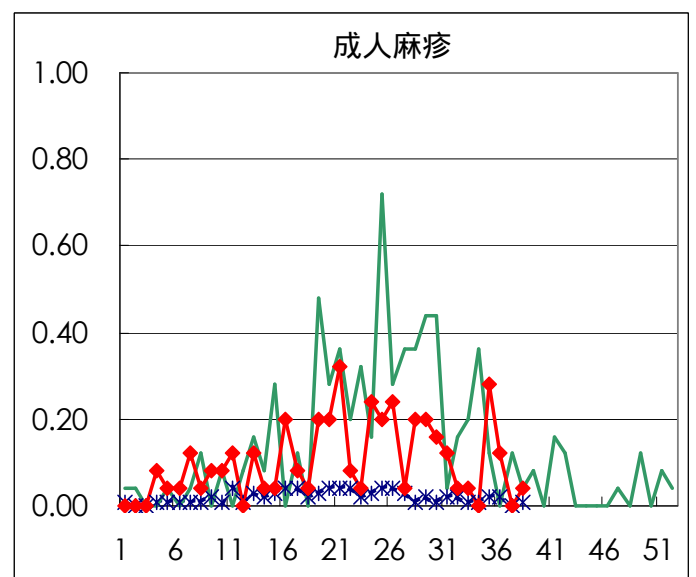
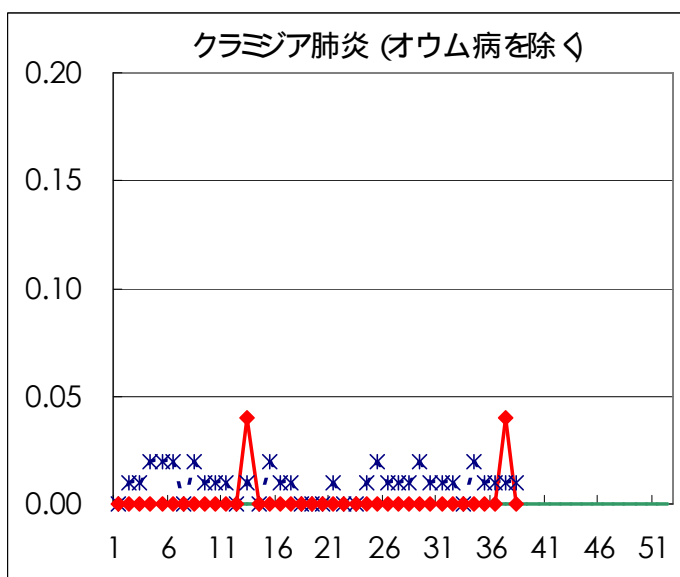
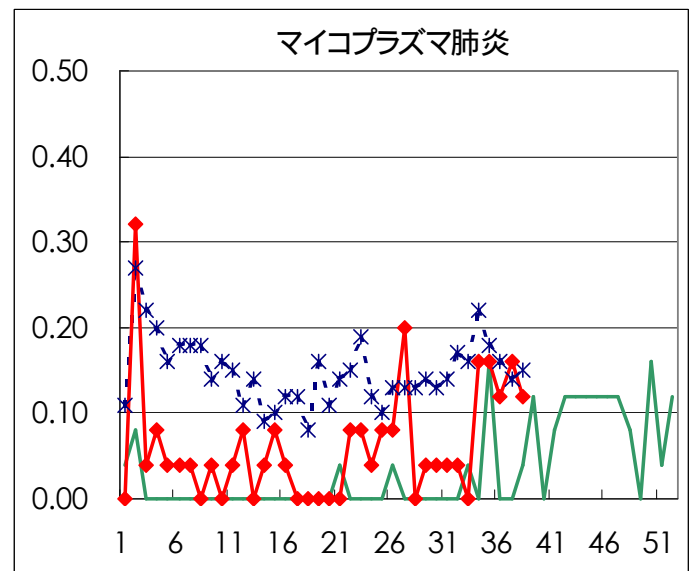
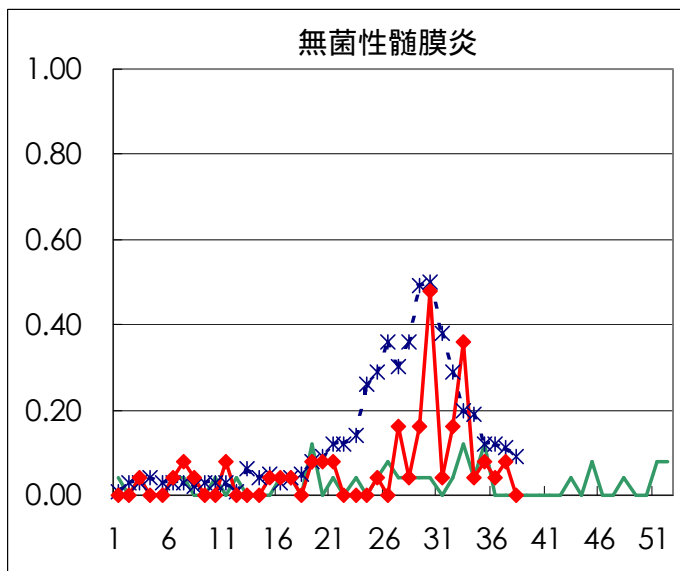
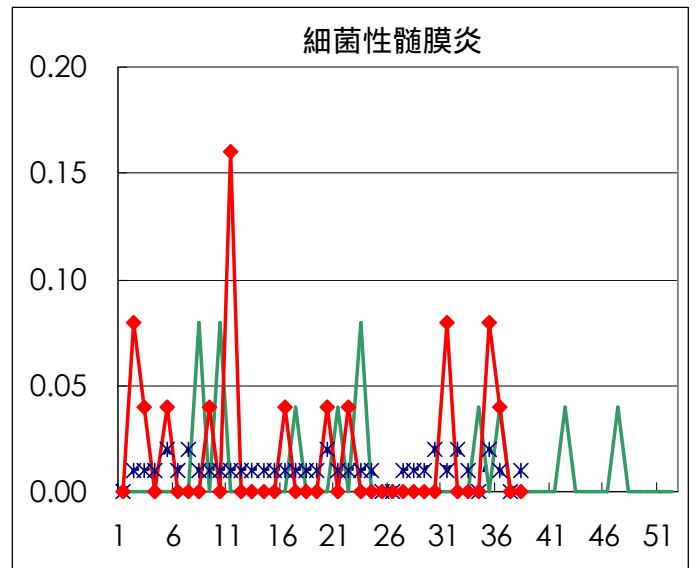
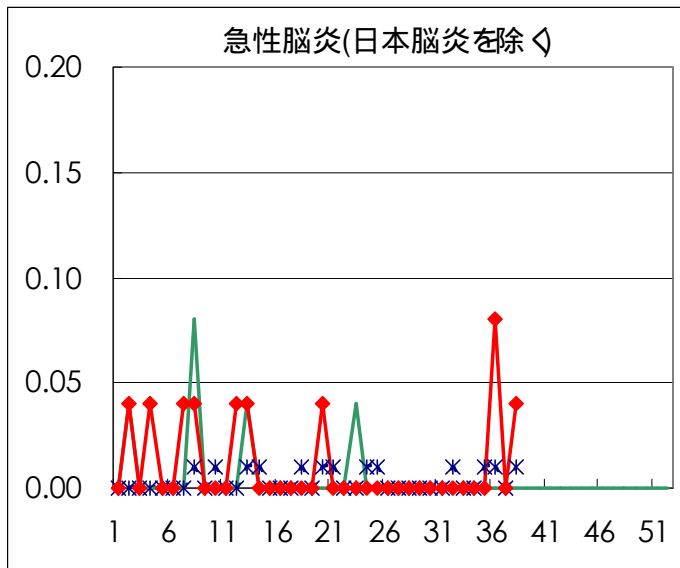
疾病別グラフ (四類定点週報告分)







疾病別の定点医療機関数	
疾病	医療機関数
インフルエンザ	178
急性出血性結膜炎	14
流行性角結膜炎	
急性脳炎	25
細菌性髄膜炎	
無菌性髄膜炎	
マイコプラズマ肺炎	
クラミジア肺炎	
成人麻疹	142
上記を除く疾病	



病原体検出情報

週別病原体 抗体検出結果 (2002年 31~ 38週)

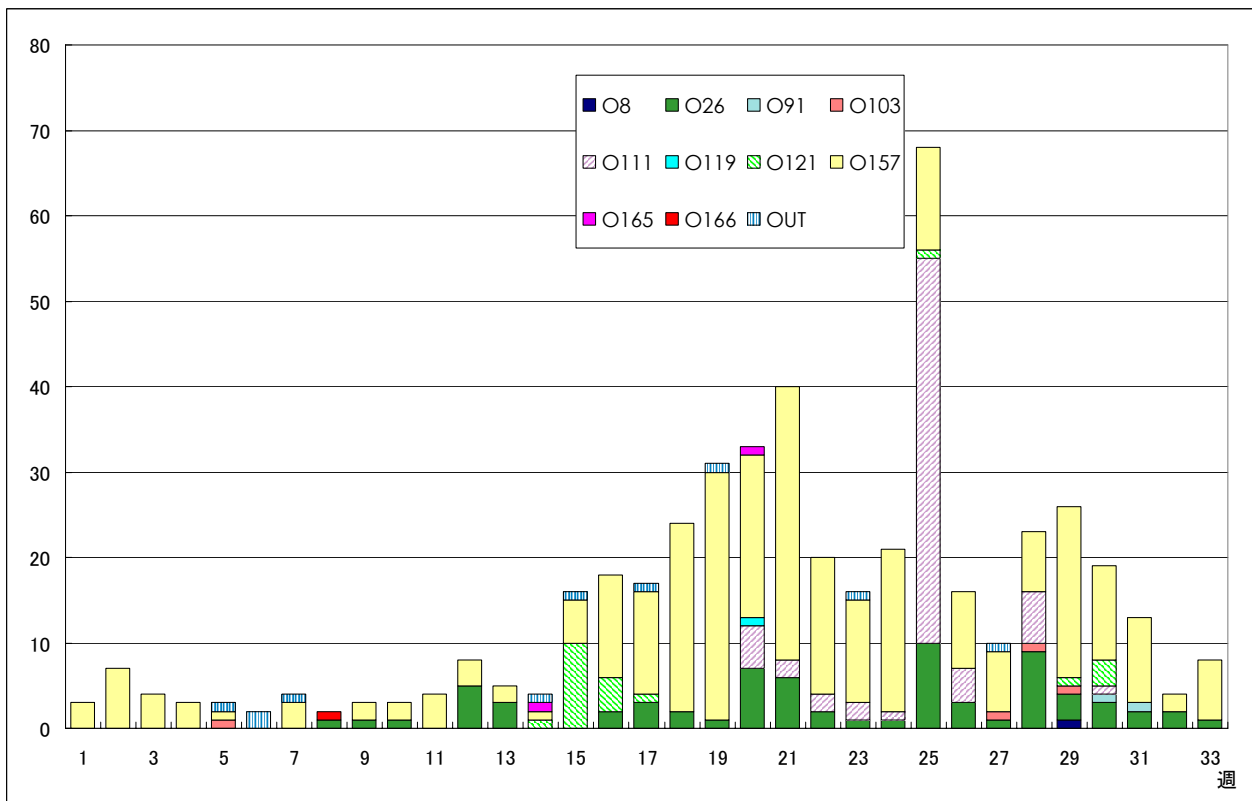
検出病原体 抗体		検体採取週								合計	
		2002年									
		31	32	33	34	35	36	37	38		
ウイルス	インフルエンザAソ連型										
	インフルエンザA香港型										
	インフルエンザB型										
	RSV										
	アデノ	1	8	11	3	1	5	5	2	36	
	エンテロ	12	19	11	5	8	9	6		70	
	SRSV=NLV	4	6		1	1		1		13	
	ロタ					1			1	2	
	単純ヘルペス				1		1			2	
	水痘 帯状疱疹										
	EBV				1			1		2	
	CMV										
	HHV6/7	2			4			3		9	
	ムンプス	4		2	1		1	1		9	
	麻疹							1		1	
	パルボB19										
	分離型別	ポリオ1									
		ポリオ2									
		アデノ1					1				1
		アデノ2	1								1
		アデノ3			3	4	1				8
		エコー13	5	7	9	2	2		1		26
		コクサッキー-A6		7							7
抗体	デング			4				1		5	
	ツツガムシ										
電顕											
細菌	カンピロバクター	1						1		2	
	サルモネラ			2	1					3	
	下痢原性大腸菌						1			1	
	エロモナス							1		1	
	O157										
	MRSAコアグララーゼ 型			1		4	1		6	12	
	MRSAコアグララーゼ 型	2	2	8	3	2	3	3	5	28	
	MRSAコアグララーゼ 型					1				1	
	MSSAコアグララーゼ 型							1		1	
	溶連菌 T-1型			1						1	
	溶連菌 T-3型										
	溶連菌 T-4型			1	2					3	
	溶連菌 T-6型										
	溶連菌 T-12型				1					1	
	溶連菌 T-22型										
	溶連菌 T-25型										
溶連菌 T-28型			1						1		
溶連菌 UT											
性感染症	梅毒					2	2	1		5	
	クラミジア抗体	11	13	20	14	15	22	31	20	146	
	クラミジア遺伝子				1		1		2	4	
	淋菌遺伝子					1	1			2	
	パピローマ					1	3	3	1	8	

臨床診断名別病原体検出結果 (2002年 31~ 38週)

臨床診断名 検出病原体	インフルエンザ (脳炎を 含む)	上気道炎	下気道炎	咽頭結膜熱	A群溶血性 球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	無菌性髄膜炎	脳炎	ヘルパンギーナ	手足口病	伝染性紅斑	発疹症	流行性耳下腺炎	口内炎	水痘	その他	合計
インフルエンザAソ連型																	
インフルエンザA香港型																	
インフルエンザB型																	
RSV																	
アデノ		11	7			6										12	36
アデノ1											1						1
アデノ2																1	1
アデノ3			1	1		1			2							3	8
エンテロ			5	3		3	36		1	1		8	2			11	70
エコー 13			1				20		1			3				1	26
コクサッキー A6									3	2		2					7
ポリオ 1																	
ポリオ 2																	
ムンプス								2					7				9
SRSV = NLV						13											13
ロタ						2											2
単純ヘルペス										1				1			2
水痘 帯状疱疹																	
パルボ B 19																	
カンピロバクター						2											2
サルモネラ						3											3
下痢原性大腸菌						1											1

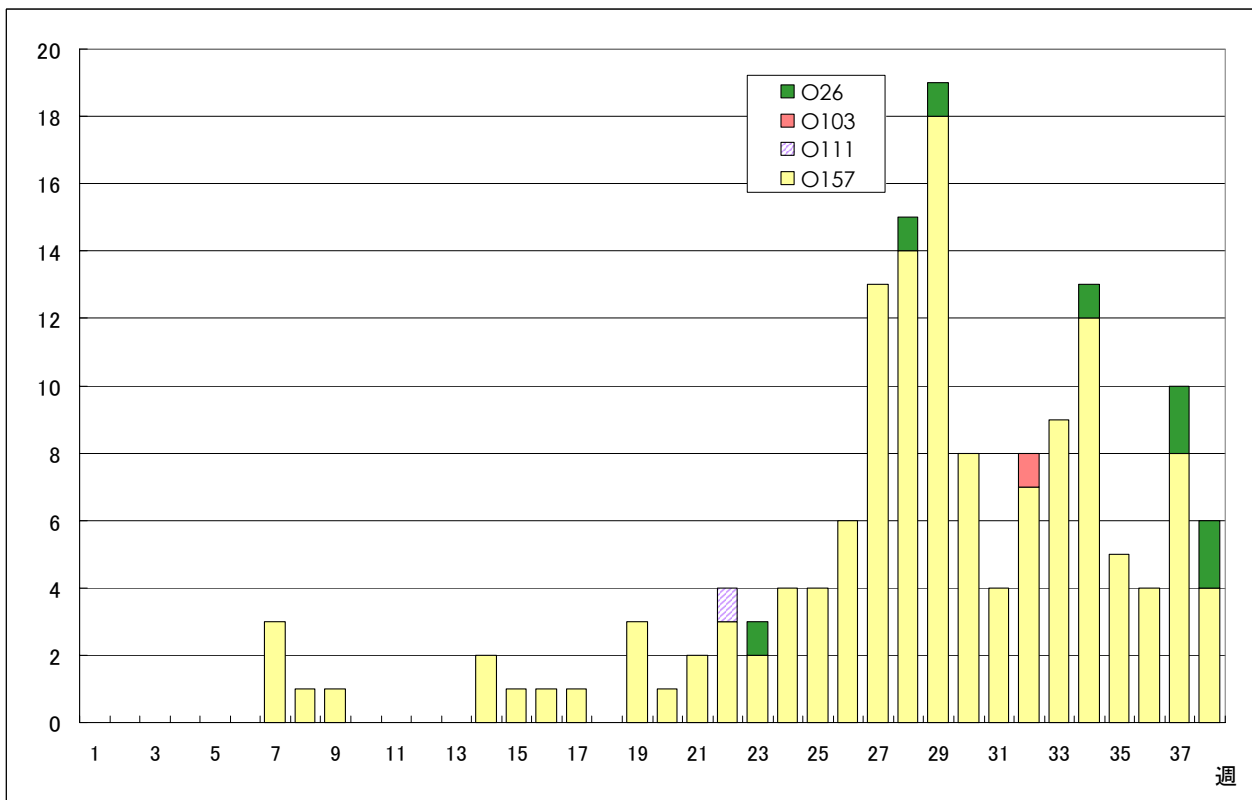
病原体検出情報（腸管出血性大腸菌感染症）

腸管出血性大腸菌感染症患者から検出された細菌（全国）



病原微生物検出情報(2002年8月26日現在報告数)

腸管出血性大腸菌感染症患者から検出された細菌（東京都）



感染症発生動向調査(東京都)

年齢階級別累計表 (2002年 38週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	M C L S
～ 6ヶ月					2			5			2				1		
～ 1歳				19	1	1	2	49			5	1				3	
1歳		3		30	6	13	2	32			8		2			2	1
2歳		3	3	22	10	9	2	2			4		5		1		
3歳			5	24	12	5	1				1	1	8				
4歳			5	27	8	2					2		3			1	
5歳		1	8	15	1	8	1			1	1		8			1	
6歳			4	20	2	1	2				5	1	1				
7歳			3	10	1	3							2				
8歳			1	7	1		1						3				
9歳			1	7									4		1		
10～14歳			1	14			2				1		5		1	1	
15～19歳			1	6	1						1	1	3				
20～29歳		1	2	36	1	1					1	2	2		1	1	
30～39歳															4		
40～49歳																	
50～59歳															2		
60～69歳																	
70～79歳															1		
80歳以上																	
合計	0	8	34	237	46	43	13	88	0	1	31	6	46	0	12	9	1
先週比	0	-7	9	-55	1	-8	6	1	-1	-2	-24	3	-1	0	2	1	0

注：小児科定点把握対象疾病のうち、「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

保健所別累計表 (2002年 38週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
千代田					4	1												5
中央区				14	1	1		1					2			1		20
みなと		5	7	2	1		1											16
新宿区			1	18	1	3					1		2		6			32
文京				3				1					2		1			7
台東			2	8	3	3		6			5							27
墨田区						1		2					1					4
江東区			1	6		2		1			1	1	1		2	1		16
品川区			2	10		2		7					2					23
目黒区					1			3					1			1		6
大田区			5	18	2	4	1	12			2	3	2			1	1	51
世田谷区		1	1	14		7		4			2		1					30
渋谷区				8	4			2					1					15
中野区				10	3			1			2		1			1		18
杉並				1	2	1		2			1		4					11
池袋						1									2			3
長崎						1		2					1					4
北区			4	6	1	3	1	9					2					26
荒川区					1													1
板橋区				4	2	2		1										9
練馬区			1		1	1	1	3			1		2					10
足立				11		1	2	1					1					16
葛飾			3	19			1	6			3		3			2		37
江戸川		2	6	6	3	2		3			1	1	2					26

保健所別累計表 (2002年 38週)

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	合計
多摩川				7				3					2					12
秋川				6	1								4			1		12
八王子								4					3					7
南多摩				10		1		4			5		1					21
町田				25		4	1	3										33
多摩立川				5	3							1	1					10
村山大和				3	1			1					1		1			7
府中小金井					2													2
狛江調布					3	2	1	2		1	2							11
三鷹武蔵野				6	5			1					1					13
多摩小平			1	9	1		4	2			1		1					19
多摩東村山				8				1			4		1			1		15
島しょ																		

東京都合計	-	8	34	237	46	43	13	88	-	1	31	6	46	-	12	9	1	575
定点当り報告数	-	0.06	0.24	1.67	0.32	0.30	0.09	0.62	-	0.01	0.22	0.04	0.32	-	0.86	0.06	0.01	

保健所別累計表 (定点当り) 2002年 38週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS	
千代田					1.00	0.25												
中央区				4.67	0.33	0.33		0.33					0.67			0.33		
みなと		0.83	1.17	0.33	0.17		0.17											
新宿区			0.17	3.00	0.17	0.50					0.17		0.33		3.00			
文京				1.00				0.33					0.67		1.00			
台東			0.67	2.67	1.00	1.00		2.00			1.67							
墨田区						0.33		0.67					0.33					
江東区			0.33	2.00		0.67		0.33			0.33	0.33	0.33		2.00	0.33		
品川区			0.33	1.67		0.33		1.17					0.33					
目黒区					0.33			1.00					0.33				0.33	
大田区			0.56	2.00	0.22	0.44	0.11	1.33			0.22	0.33	0.22				0.11	0.11
世田谷区		0.13	0.13	1.75		0.88		0.50			0.25		0.13					
渋谷区				2.00	1.00			0.50					0.25					
中野区				1.67	0.50			0.17			0.33		0.17				0.17	
杉並				0.17	0.33	0.17		0.33			0.17		0.67					
池袋						0.25									2.00			
長崎						1.00		2.00					1.00					
北区			1.00	1.50	0.25	0.75	0.25	2.25					0.50					
荒川区					0.50													
板橋区				0.67	0.33	0.33		0.17										
練馬区			0.20		0.20	0.20	0.20	0.60			0.20		0.40					
足立				2.75		0.25	0.50	0.25					0.25					
葛飾			0.75	4.75			0.25	1.50			0.75		0.75				0.50	
江戸川		0.50	1.50	1.50	0.75	0.50		0.75			0.25	0.25	0.50					

保健所別累計表 (定点当り) 2002年 38週

	インフル エンザ	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発疹	百日咳	風疹	ヘルパン ギーナ	麻疹 (成人以外)	流行性 耳下腺炎	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	不明 発疹症	MCLS
多摩川				2.33				1.00					0.67				
秋川				3.00	0.50								2.00			0.50	
八王子								2.00					1.50				
南多摩				3.33		0.33		1.33			1.67		0.33				
町田				12.50		2.00	0.50	1.50									
多摩立川				1.25	0.75							0.25	0.25				
村山大和				1.50	0.50			0.50					0.50		1.00		
府中小金井					0.67												
狛江調布					1.00	0.67	0.33	0.67		0.33	0.67						
三鷹武蔵野				1.50	1.25			0.25					0.25				
多摩小平			0.33	3.00	0.33		1.33	0.67			0.33		0.33				
多摩東村山				2.67				0.33			1.33		0.33			0.33	
島しょ																	

東京都合計	-	8	34	237	46	43	13	88	-	1	31	6	46	-	12	9	1
定点当り報告数	-	0.06	0.24	1.67	0.32	0.30	0.09	0.62	-	0.01	0.22	0.04	0.32	-	0.86	0.06	0.01

C型肝炎

東京都医師会感染症予防検討委員会

C型肝炎は、1989年に発見され分類上は、フラビウイルス科に属するC型肝炎ウイルスの感染によって引き起こされる。ウイルス感染は、血液を介して起こる。感染全体の40%は輸血であり、供血者の血液に対するC型肝炎検査が行われる以前に輸血したヒトに患者が多い。輸血以外には、感染者との性行為や母子感染がある。感染形態は、多くの場合が持続感染であり、感染者の約60%が慢性化し、20年で肝硬変、30年で肝ガンへと進展していく。現在我が国では、250万人の感染者がいるといわれている。病状の進展は、感染年齢にかかわらず、40歳代で肝炎の症状があらわれ、50～60歳始めにかけて肝ガンとなる場合が多い。しかし、感染後5年以内に肝ガンがあらわれることはほとんどないので、我が国では、40歳以降の年齢層を対象とした5歳刻みの節目検診が計画されている。

ウイルス感染の状態は、血液を検査材料とした抗体検査によって推測している。抗体陽性の場合には、現在ウイルスに感染しているのか、過去に感染していたのかを区別する必要がある。この区別は、抗体価を目安とし、高力価の場合をウイルス陽性、低力価の場合を回復期と推測している。最終判定は、C型肝炎ウイルスのRNA検査によってウイルス抗原の有無を推定することによって行う。

感染予防は、ワクチンが開発されていないので、感染者の血液に接触しないことが重要である。患者の治療には、インターフェロンや抗ウイルス剤リバビリンが用いられている。しかし、現在の治癒率は30%程度といわれている。

(文責・都立衛生研究所多摩支所微生物研究科長 矢野一好)